

導入企業1,100社突破 次世代版 対話型AI面接サービスSHaiN ～新卒・中途採用から昇進昇格・アセスメント評価まで幅広く活用～

株式会社タレントアンドアセスメント（本社：東京都港区、代表取締役：山崎俊明）は、同社が開発・提供する次世代版対話型AI面接サービスSHaiN（以下、SHaiN）を導入した企業が、累計1,100社を突破したことをお知らせいたします。



■1,000社突破から約4か月で100社増、鈍化することなく1日約1.3社のペースで導入拡大

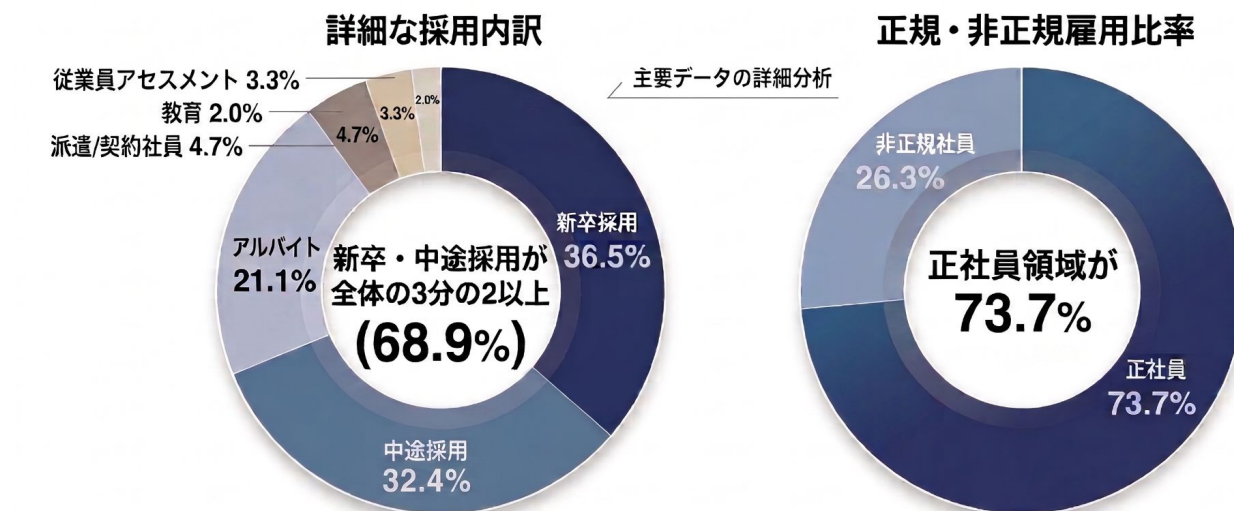
2017年10月に日本初の対話型AI面接サービスとして提供を開始したSHaiNは、2026年3月の導入企業1,000社突破以降も着実に拡大し、約4か月で100社を積み上げ、2026年7月に累計1,100社を突破しました。これは1日約1.3社のペースで新たな企業への導入が進んだ計算となります。累計受検者数は延べ22万8,000名を超え、国内最大級の対話型AI面接サービスとして業界を牽引しています。

■SHaiNが選ばれる理由：新卒・中途採用をはじめ幅広い人材領域で活用

導入企業の内訳をみると、利用の多い順から新卒採用での利用が36.5%、中途採用が32.4%、次いでアルバイト採用が21.1%となっており、採用領域だけでも幅広い層を対象に利用されています。

さらに、これらの新卒・中途・アルバイトなど採用面接にとどまらず、大手インフラ企業では管理職を対象とした人材アセスメントを実施し、その結果をもとに一人ひとりの適性に応じた研修の提供や育成施策に活用されています。また、金融グループでは役席者への昇格試験、飲食チェーンでは店長の昇格試験に導入されるなど、採用にとどまらず、人材評価・育成・登用へと活用領域の広がりを見せています。

<SHaiNは新卒・中途採用を中心に、正社員領域での活用が7割以上>



※1社で複数の利用領域に該当する場合、各領域においてそれぞれ1社として集計しています。

※正社員領域：新卒採用・中途採用・従業員アセスメント、非正規社員領域：アルバイト採用・派遣・契約社員採用。教育は除きます。

■SHaiNが選ばれる理由：ブラックボックス化しない「安全性」と「再現性」

採用分野におけるAI活用が急速に広がる一方、生成AIを活用したAI面接サービスでは、「同じ回答でも評価結果が変わる」「評価理由を説明できない」といった課題が指摘されています。

SHaiNは、AIブーム以前から蓄積された約4万5,000件の面接データをもとに、東京大学 山崎研究室との共同研究により構築した独自の評価AIアルゴリズムを搭載しています。これにより、同一回答に対して一貫した評価を行う再現性と、評価根拠を説明できる透明性を実現しています。また、採用におけるAI活用を「高リスク」と分類する世界で最も厳格な『EUのAI規制法』が義務付ける基準（人間による監視体制、ログの記録・管理、第三者による適合性の評価）をすべてクリアしており、企業が安心して活用できる評価AIとして提供しています。

■次世代版対話型AI面接サービス SHaiNとは (<https://shain-ai.jp/>)

タレントアンドアセスメントが開発した戦略採用メソッドをもとに、人間の代わりにAIが面接を実施することで、人間が行う面接で課題視されてきた評価のばらつきが改善され、可否基準の統一、先入観のない公平公正な選考を実現している国内最大手の対話型AI面接サービスです。

新卒・中途・アルバイトなどの採用選考に加え、昇格試験や社内アセスメントなど、幅広い人材領域で活用されています。

受検者はスマートフォンやタブレットを利用し、24時間365日、いつでもどの場所でもAIと対話しながら面接を行うことができ、日程による選考辞退などの機会損失を減らせるようになります。また企業側は面接評価レポートなどを参考に、採用可否だけでなく、対面の面接時には候補者ごとに適した質問の投げかけや、特徴に合わせた動機付けとして活用することができます。

SHaiNの最大の特徴は、約4万件の面接データをもとに東京大学・山崎研究室との共同研究によって開発された独自の評価AIアルゴリズムを搭載することで、評価根拠を説明可能にしたことです。

2024年施行のEUにおけるAI規制法では、採用におけるAI活用を高リスクと分類し、「人間による監視体制」「ログの記録・管理」「第三者による適合性の評価」を義務付けていますが、SHaiNはそれぞれの基準を満たしており、AI規制法を遵守したサービスとなっています。

2025年12月リリースの次世代版SHaiNでは、PKSHA Technologyの保有する、高度な自然言語処理技術および機械学習モデルの搭載により、面接における傾聴機能を大幅に強化しポジティブな対話体験を実現。さらに、従来の10資質評価に加え、その他資質として多角的な評価を新たに実装し、より精緻な人物分析が可能となりました。その他資質は、日本経済団体連合会（経団連）の「新卒採用に関するアンケート調査」で重視項目として挙げられた「コミュニケーション能力」「主体性」「チャレンジ精神」「協調性」「誠実性」を含む8種類のコンピテンシーとなります。

SHaiNは、グループ企業であるPKSHA Technologyが展開する「AI Suite for HR」の役割の一つとして、AIにより総合的に人事業務の効率化と転職者や働く人々の体験向上の実現を目指しています。



SHaiN
Strategic Hiring AI Navigator
with PKSHA AI



■株式会社タレントアンドアセスメント (<https://www.taleasse.co.jp/>)

所在地 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー23F
 代表者 代表取締役 山崎俊明
 設立 2014年10月
 資本金 5,000万円
 事業内容 AI面接サービスSHaiNを主軸とした採用コンサルティング事業の展開

本件に関するお問合せ先：株式会社タレントアンドアセスメント 広報担当

TEL 03-4233-7422 / E-MAIL pr@taleasse.com

(3/3)